



埼玉の気候変動対策の現状

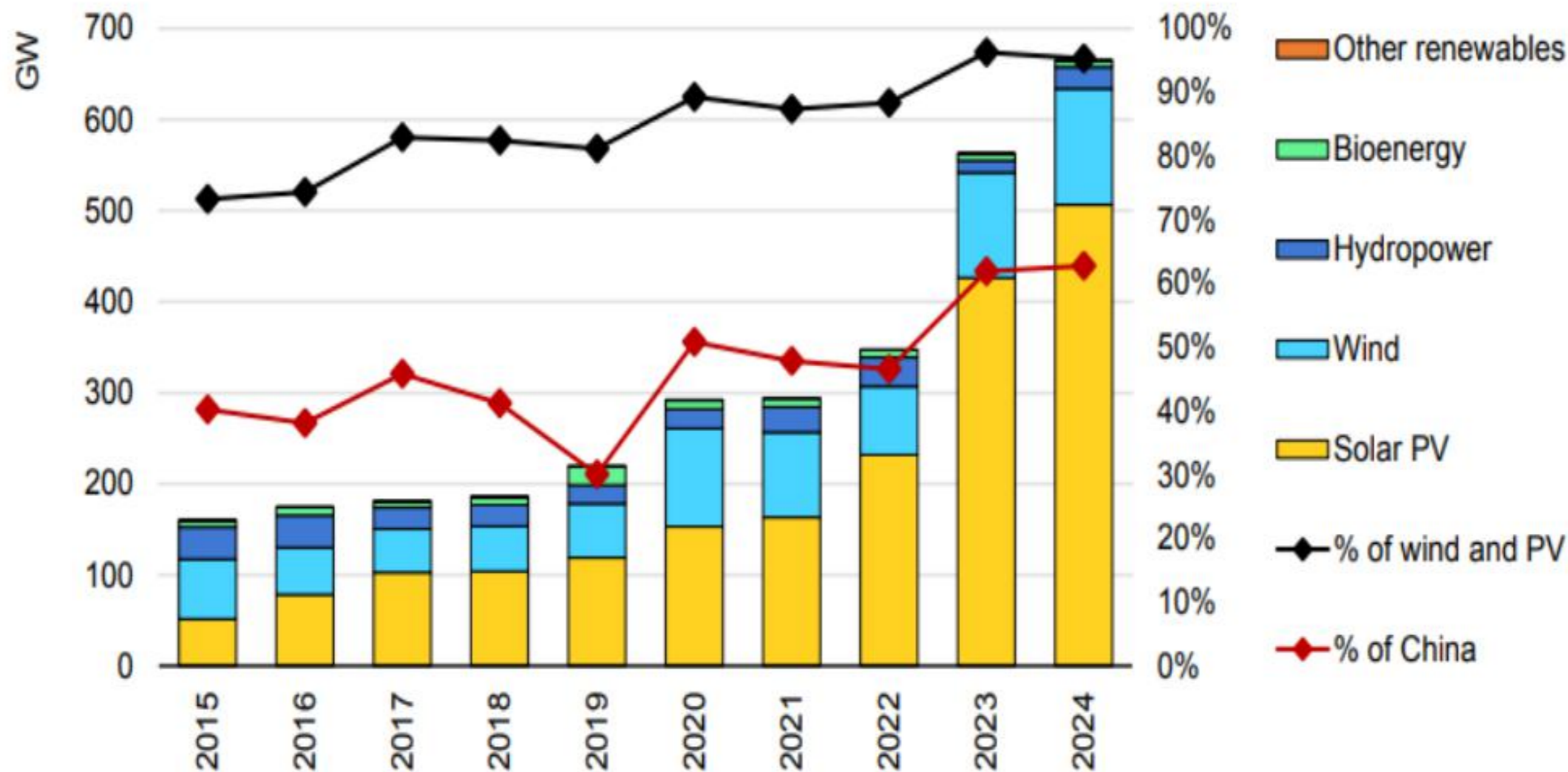
公益財団法人自然エネルギー財団
上級研究員 尾身悠一郎

- 世界の目標
- 日本の再エネ状況
- 埼玉県の取り組み
- まとめ



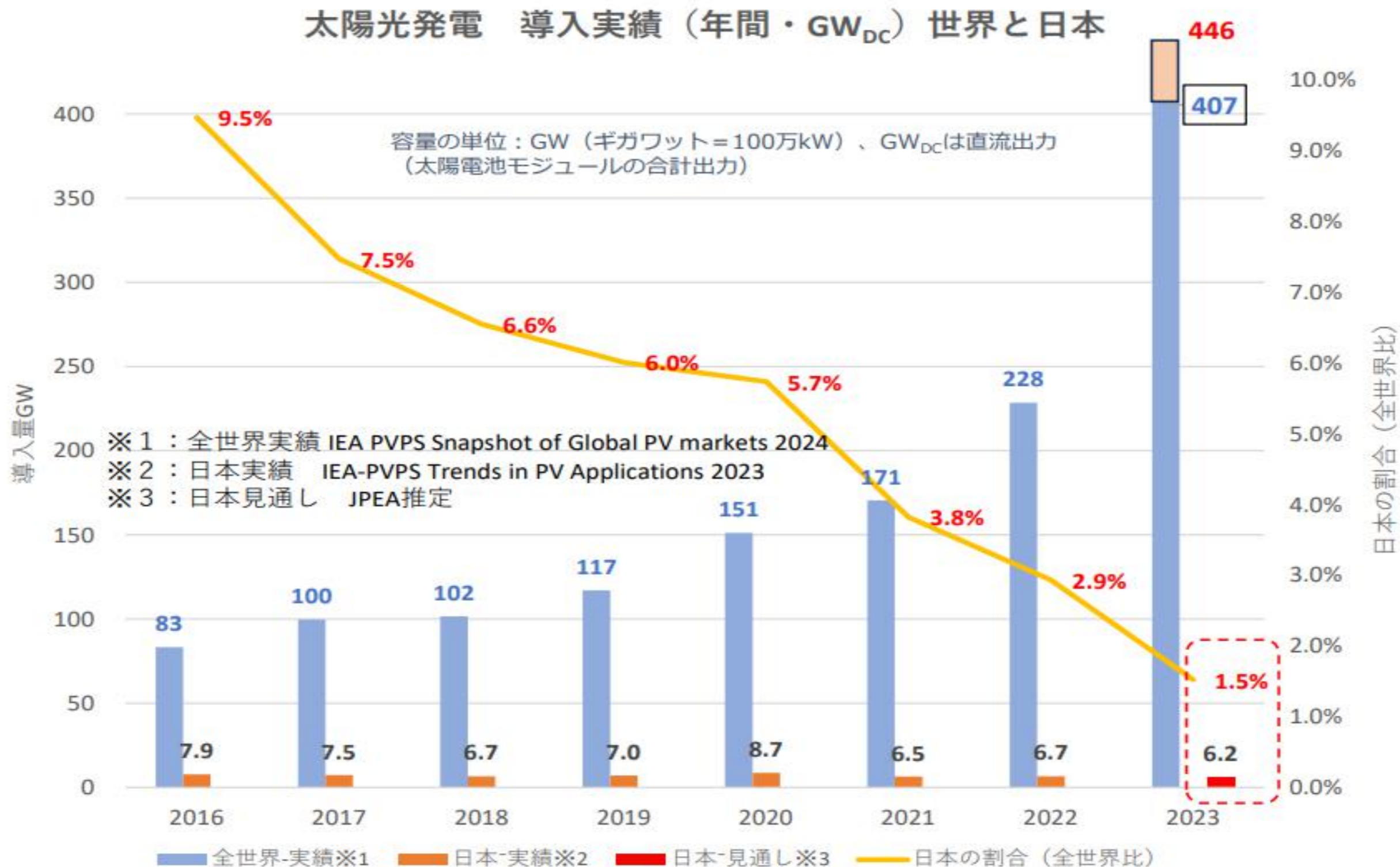
COP28首脳級会合終わる 再生エネ発電容量 3倍へ110か国以上誓約

着実に再エネ3倍化に向けて進む世界



2015年には世界累計で650GWだったが、2024年は1年間だけで650GWが導入
太陽光だけで500GWも導入 = 2030年に2022年比で2.7倍のペースでさらに加速が必要

ただし日本の太陽光の年間導入量は減少傾向・・・



日本の年間導入量は2022年の6.7GWから6.2GWに減少し、世界のトレンドと乖離しつつある



埼玉県の地球温暖化対策

埼玉県地球温暖化対策実行計画（第2期）改正版 **概要版**

（2013年度）

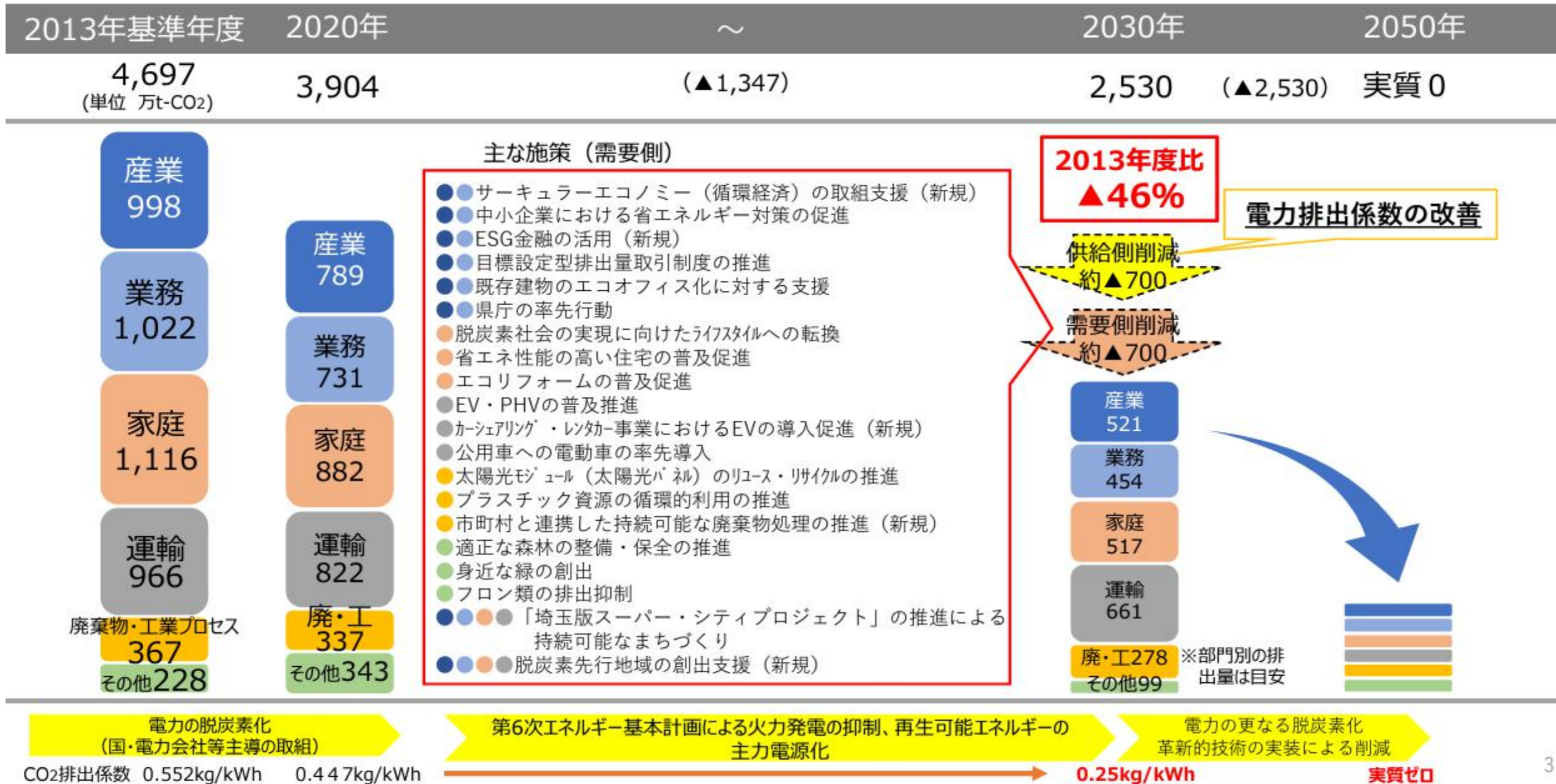
温室効果ガス削減目標

2030年度（令和12年度）における埼玉県の温室効果ガス排出量を
2013年度（平成25年度）比 **46%削減** する。

46%
削減

埼玉県の地球温暖化対策

埼玉県地球温暖化対策実行計画（第2期）改正版 **概要版**



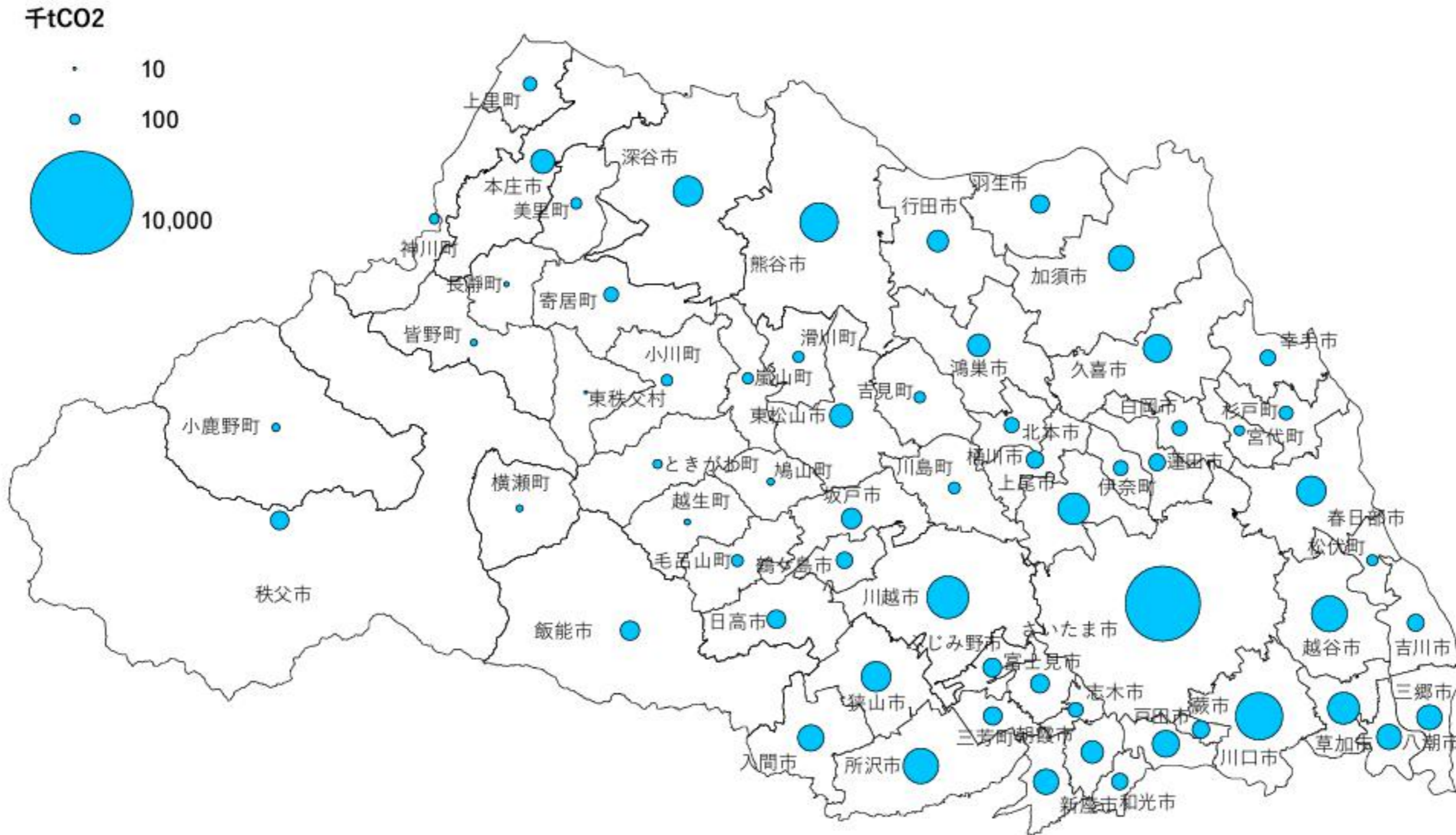
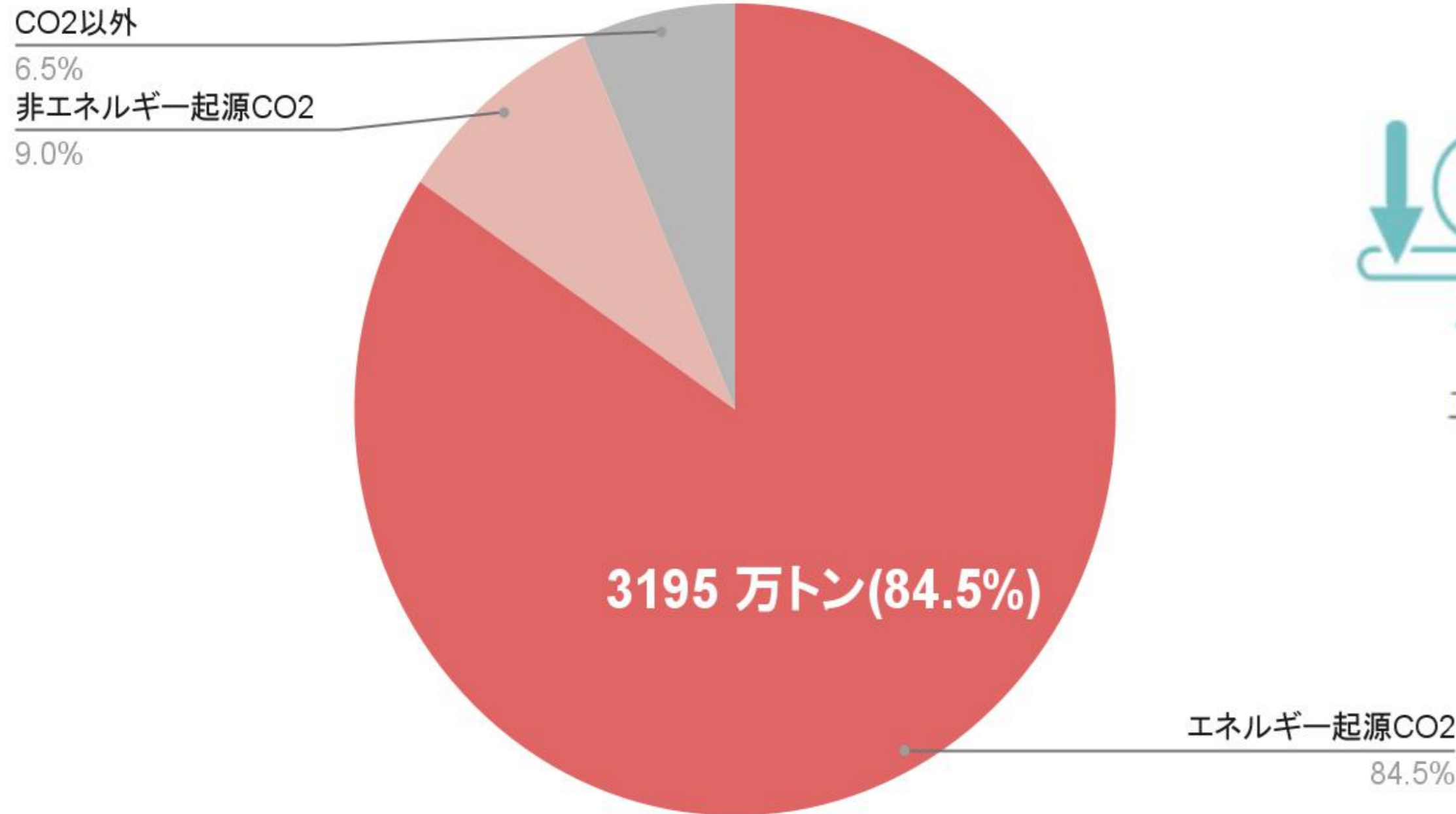


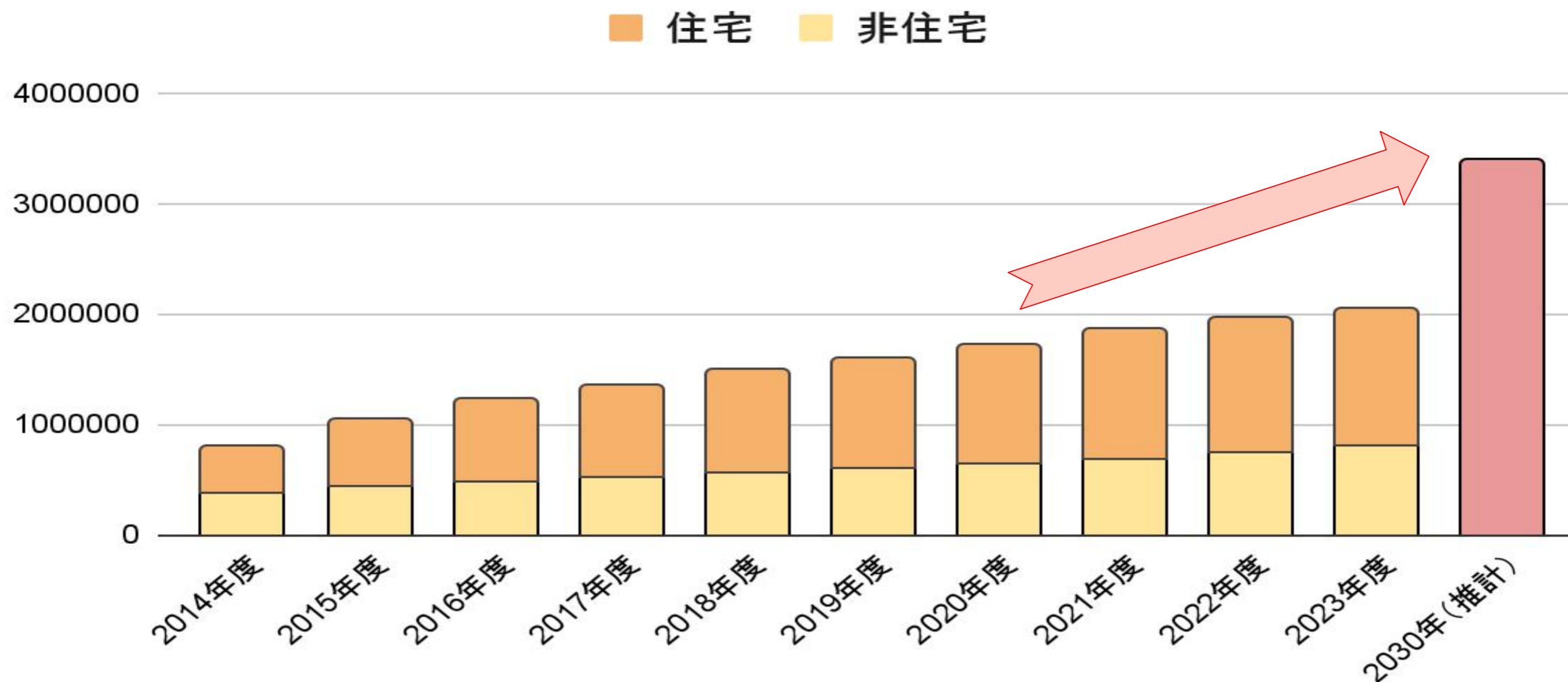
図 3-1 埼玉県内市町村の温室効果ガス排出量（2021 年度）

埼玉県の二酸化炭素排出量



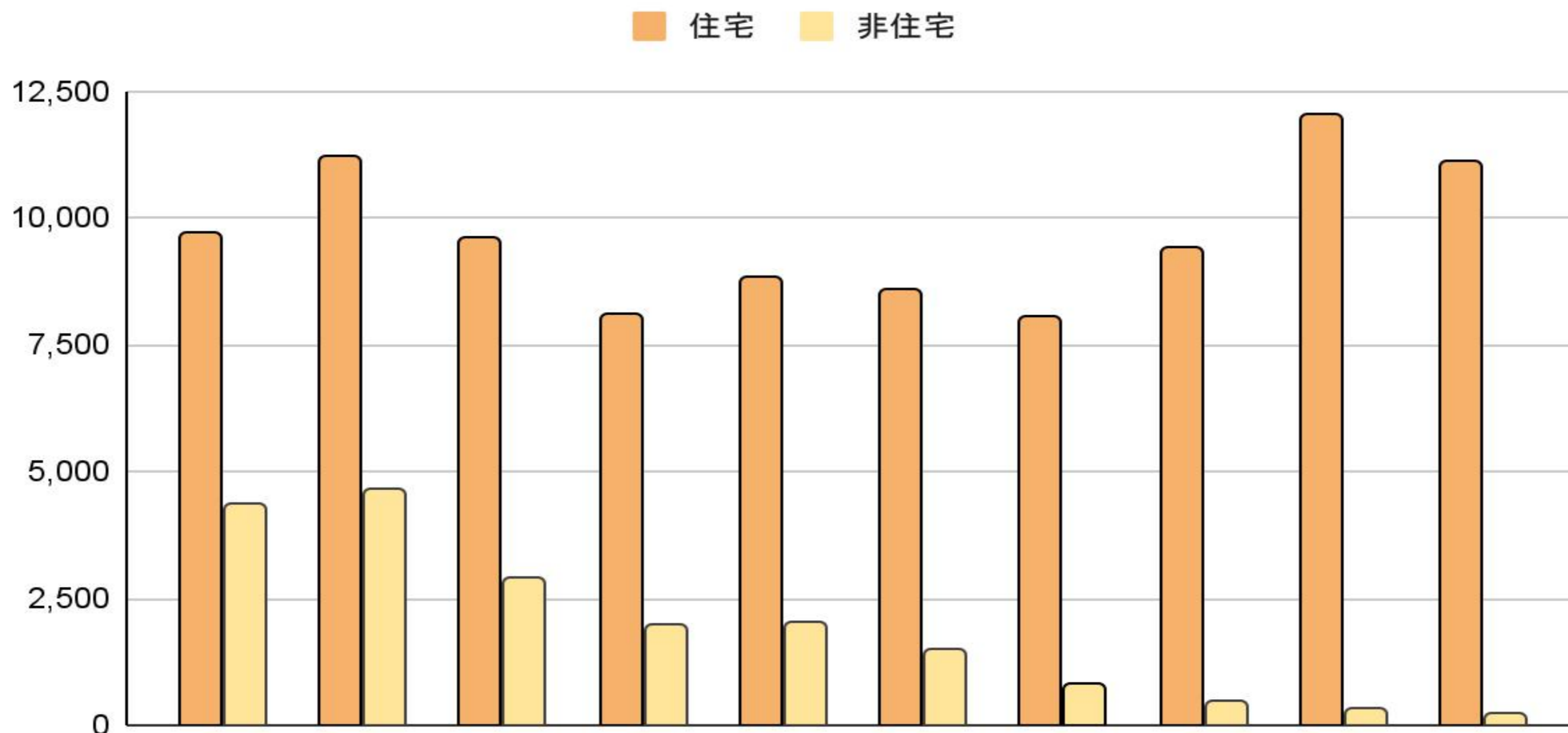
排出源の大半は化石燃料由来、燃料費が年間1兆4千億円が県外に流出

埼玉県の太陽光導入目標(kW)



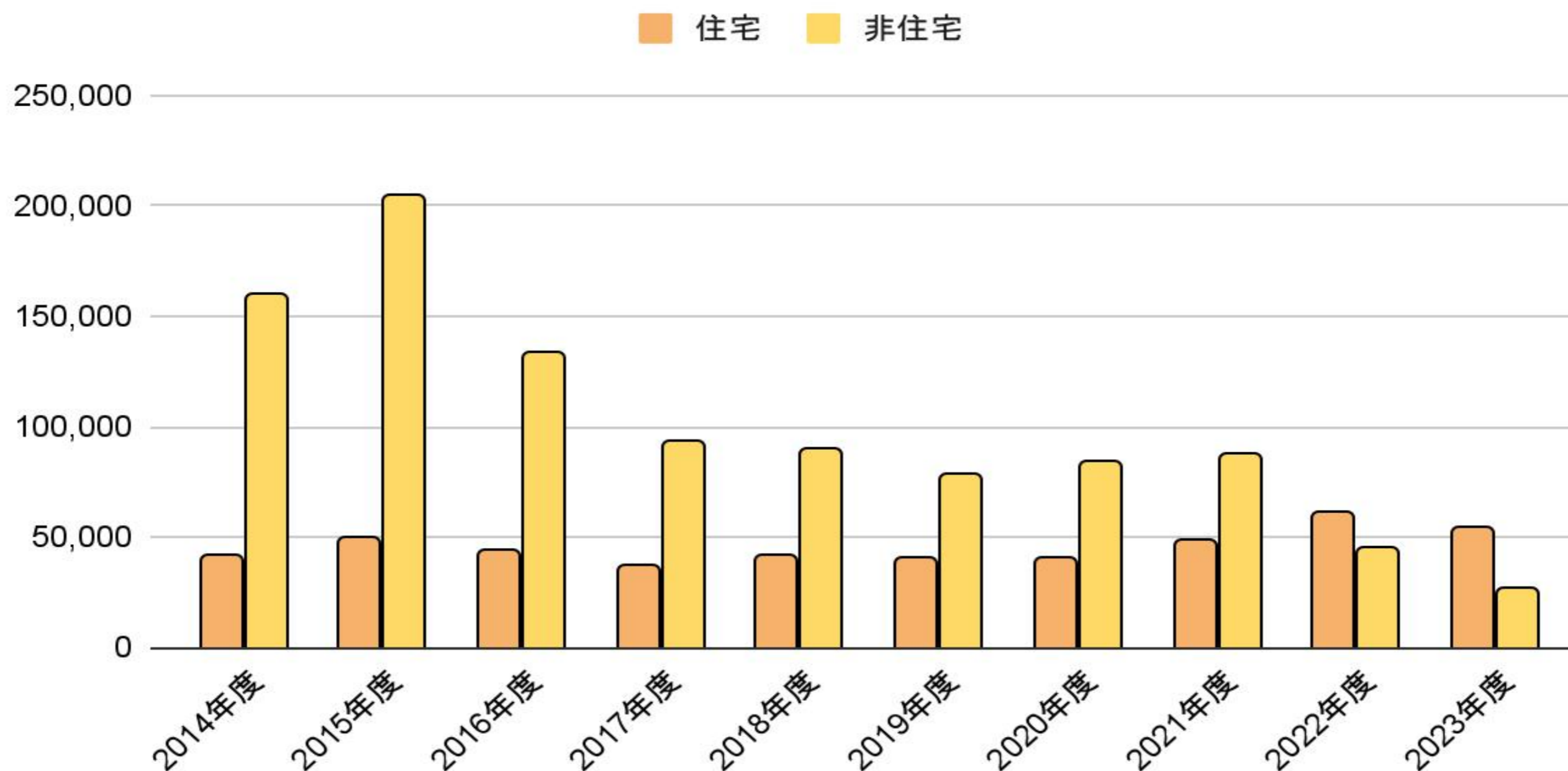
2023年で約200万kW→県の目標は2020年の170万kWから2倍の330万kW前後

年間の新規導入の推移(件)



大規模パネルの導入が減少⇔住宅用パネルの設置件数は13万件と**全国2位**の実績

年間の新規導入量(kW)



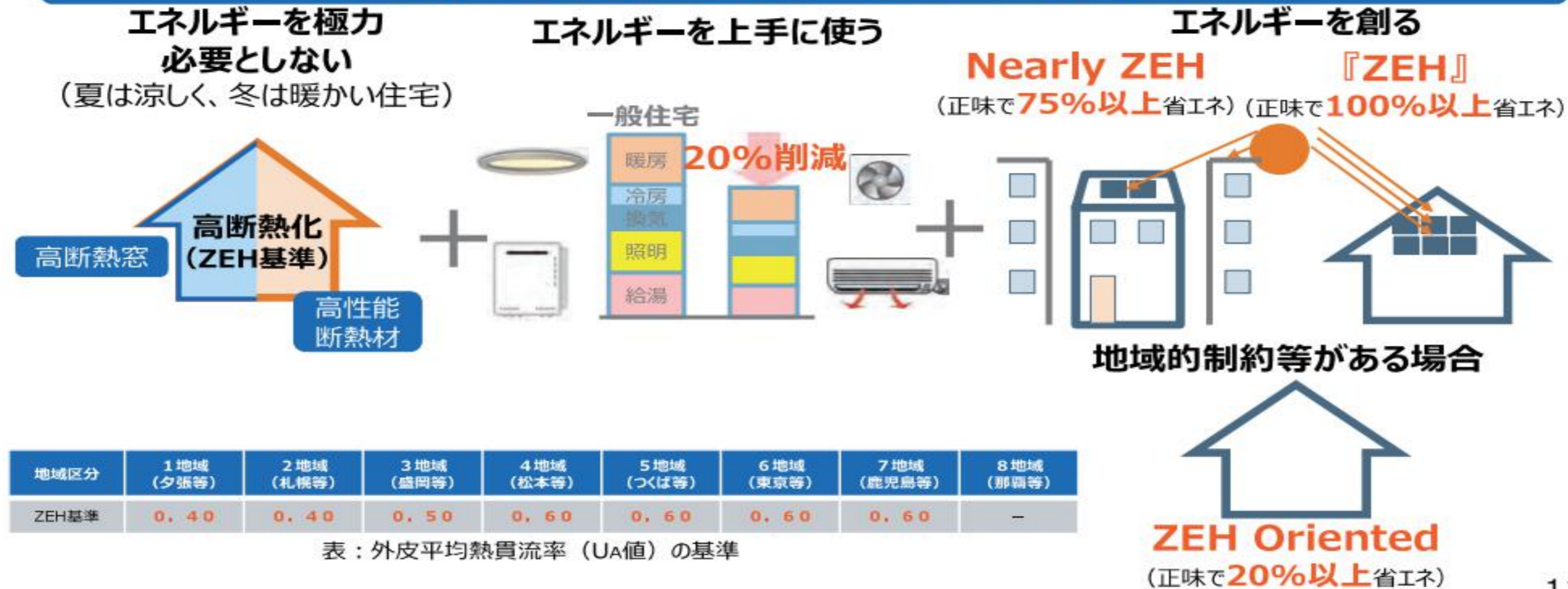
設備容量で見ても住宅用パネルが逆転

設置場所	導入ポテンシャル
戸建住宅	919万kW
集合住宅	49万kW
非住宅建築物	982万kW
農地	746万kW
合計	2696万kW

ZEHとは（ZEHの定義）

- ZEHは、快適な室内環境を保ちながら、住宅の高断熱化と高効率設備によりできる限りの省エネルギーに努め、太陽光発電等によりエネルギーを創ることで、1年間で消費する住宅のエネルギー量が正味（ネット）で概ねゼロ以下となる住宅
- 地域的制約等がある場合を除き、太陽光発電等の創エネ設備と一体であることが原則

年間で消費する住宅のエネルギー量が正味で概ねゼロ以下



埼玉は関東で最もZEHの設置率が高い→埼玉の強み＝建物の再エネと省エネ



自然エネルギー財団

RENEWABLE ENERGY INSTITUTE

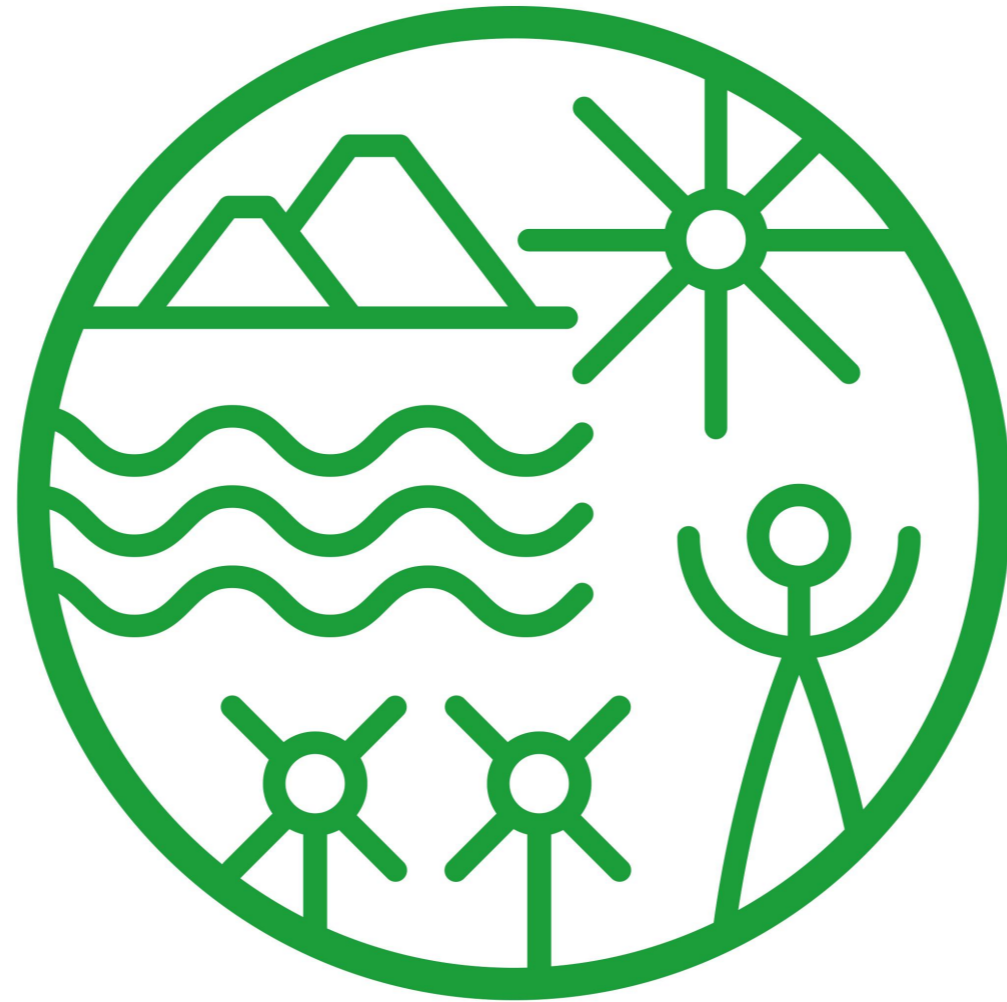
ご清聴ありがとうございました。

表内容は講演者の見解に基づくものであり、
自然エネルギー財団の公式見解ではありません。



RENEWABLE
ENERGY
INSTITUTE

Paradigm Shift in Energy



自然エネルギー財団

RENEWABLE ENERGY INSTITUTE